

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	60・61	旅程管理
2年	100・101	東北学

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング TB-3-ECO-17				
		●			●					
科目名	旅程管理				単位 認定者	小畑 隆		評価の方法	授業内課題 （レポート）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	講義	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目では旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について座学と実習により理解を深める。旅程管理は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者（旅行者）にとっても非常に重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行い、当該業務への理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。									
到達目標	旅程管理者（ツアーコンダクター）の業務について理解を深め円滑なツアーを実施できるようにする。国内旅程管理主任者の公的資格を取得するために必要なレベルの知識を身につけることができる。									
学修者への期待等	限られた講義時間の中で全員の国内旅程管理者（公的資格）の修了を目指す。集中して受講してほしい。修了した者には、添乗実習を実施する。									
回	授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	旅行業法（概要、総則、旅行業法等）					事前学修：旅行業法、標準旅行業約款についての概要の下調べをする。 事後学修：旅行業法、標準旅行業約款についての概要の深掘りをする			30	30
2	標準旅行業約款（約款とは、総則、他）									
3	標準旅行業約款（契約、旅程管理、責任他）									
4	標準旅行業約款（旅程保証他）									
5	国内添乗実務について					事前学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての下調べをする。 事後学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての深掘りをする			30	30
6	国内添乗実務の流れ									
7	バス利用の添乗									
8	航空機利用の添乗									
9	列車（JR）利用の添乗					事前学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての下調べをする。 事後学修：国内旅行実務及び添乗員実務についての深掘りをする			30	30
10	船舶利用の添乗									
11	事故・トラブル処理									
12	旅行地理・用語の理解									
13	添乗実習準備					事前学修：添乗実習先の下調べをする。 事後学修：添乗実習先についての深掘りをする			30	30
14	添乗打合準備、関係機関への確認業務									
15	バス車内での業務、お客様への接遇									
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）									

教科書	無し
参考文献	必要に応じて指示する。
備考	本科目は4日間の集中講義である。旅行業法と旅行業約款および旅行実務の講義最終日に修了テストを実施する。受験諸費用・修了証書・実習費用が，別途必要となる。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
現在添乗員派遣会社（エコーラインターナショナル社）仙台支店長。12年の国内外の添乗員を経験と，20年にわたり旅程管理の講師を経験している。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-0-HCU-01					
	●				●						
科目名	東北学				単位認定者	黒田 清志		評価の方法	試験 (レポート)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	東北における観光ビジネスを学ぶうえで重要となる、東北の歴史・文化・社会・経済について総合的に理解し、地域社会を活性化するための企画の手法などについて考える。										
到達目標	①東北の地域資源を知る。 ②地域資源を生かす方法を学ぶ。										
学修者への期待等	自ら地域資源を調べ、それを活かす企画の方法・技術を身につける。										
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	東北学概論				事前学習：学ぶ目的をまとめておく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
2	東北の地理を学ぶ				事前学習：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
3	地域のマーケティング（１）地域の魅力づくり				事前学習：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
4	地域のマーケティング（２）活性化の4つの手法				事前学習：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
5	地域のマーケティング（３）活性化の事例				事前学習：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
6	地域のマーケティング（４）顧客を知る				事前学習：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
7	企画力を高める				事前学習：参考文献を読んでおく 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
8	企画ワークショップ（１）商品開発 グループワーク				事前学修：商品開発のアイデアをまとめる 事後学習：グループでアイデアをまとめる				30	30	
9	商品開発プレゼンテーション				事前学修：グループでプレゼンの役割を決める 事後学習：他のグループの評価をまとめる				30	30	
10	企画ワークショップ（２）イベント企画 グループワーク				事前学修：イベント企画のアイデアをまとめる 事後学習：グループのアイデアをまとめる				30	30	
11	イベント企画プレゼンテーション				事前学修：グループでプレゼンの役割を決める 事後学習：他のグループの評価をまとめる				30	30	
12	企画ワークショップの総括				事前学習：提示された参考文献を読む 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	
13	東北の歴史と地域活性化の先人たち				事前学習：提示された参考文献を読む 事後学修：関連資料をまとめておく				30	30	

14	東北の特性を活かす	事前学習：提示された参考文献を読む 事後学修：関連資料をまとめておく	30	30
15	地域・組織・自分の活性化のキーワード	事前学修：講義全体の復習をする 事後学習：地域活性化につながる自分の役割を考える	30	30
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（グループワーク，プレゼンテーション）			
教科書	テキスト等は授業の都度配付。			
参考文献	参考文献は授業の都度提示する。			
備考	フィードバックは毎回「履修レポート」に基づいて行う。			

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

H6年からH23年まで仙台市経済局，および仙台市観光コンベンション協会で，また中小企業診断士（H2～R6）として，地域の中小企業，商店街，農業，観光，物産等の支援事業を担当。あわせて山形県内の地域や企業のアドバイザー，セミナー講師等を務める。広範囲の業種の事業者の経営支援や東北の地域活性化に関わってきた経験から，経済や文化的側面からわかりやすく，具体的な授業を行うことができる。